

グループ名 ・代表者名	eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会） 吉田 明子	助成金額	40 万円
連絡先など	info@e-shift.org		
助成のテーマ	「パワーシフト」自然エネルギー拡大に向けた働きかけと普及啓発		

**【調査研究の概要】**

- ・2016年4月から実施の電力小売全面自由化をターゲットとし、自然エネルギーの選択を、政策面、消費者運動の両面から後押しするために「パワーシフト・キャンペーン」を発足し、調査・政策提言と普及啓発の取り組みを行った。
- ・私たち消費者・市民が、電力会社の選択を通じて電源のあり方にも意思表示をできる大きなチャンスであると同時に、リスクもある。電力自由化で新規参入、価格競争が起こることで、本来なら原発は不利となるが、何とか原発を維持推進するためのエネルギー政策や原子力政策が次々と固められている。また、価格競争のために各社とも安い電源の確保、すなわち石炭火力発電の新增設が相次いでいる。石炭火力で増える二酸化炭素排出を相殺するために、やはり原発再稼働が必要という論理が働く。脱・既存電力会社だけでは不十分であり、再生可能エネルギーを重視する電力会社こそ市民・消費者として後押しする必要がある。
- ・パワーシフト・キャンペーンでは、再生可能エネルギーを重視し、宣伝力・資本力など圧倒的に小規模な電力会社の情報を紹介することで、消費者の選択を促すことをめざす。
- ・電源構成の開示・表示に関しては、署名や経産省との意見交換、要望提出やパブリックコメントを呼びかけた。2016年度には経済産業省による調査も行われ、各方面からの声が業界や行政を少しずつ動かしている。

**【調査研究の経過】**

- ・2015年4月～：電力会社ヒアリング開始
- ・6月：電源表示に関する署名活動、提出
- ・8～9月：ヒアリング結果とりまとめ、電力会社インタビュー記事のまとめ・公表（5社分）
- ・8～9月：再エネ固定価格買取制度（FIT）制度変更に関する署名実施、提出
- ・9月21日：パワーシフト・シンポジウム「どうなるの？電力小売全面自由化」
- ・12月：経済産業省に対し、電源構成開示に関する要望書提出
- ・12月：電力会社紹介4社分追加、合計9社
- ・2016年2月：電力会社紹介3社分追加、合計12社
- ・3月：「パワーシフト宣言」取りまとめ・リリース
- ・3月：電力会社紹介2社分追加、合計14社

**【今後の展望など】**

- ・今後は、2015年度に構築したネットワークや土台をもとに、さらに活動を広げ深めていく予定である。各地でのより積極的な展開や電力会社との情報共有、政策提言も予定している。また市民運動にとどまらず、趣旨を共有する「パワーシフトな企業・事業所」の発掘・協働も進めていきたい。

会計報告書の概要（金額単位：千円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	遠距離交通費・近距離交通費	206	100	65	41
会議費	セミナー等会場	153		50	103
印刷費	ちらし、セミナー・会議資料等	330		120	210
協力者謝礼など	講演謝金・デザイン費など	191	20		171
外部委託費	ウェブページ作成	30		30	
人件費	事務局運営費	360	120		240
運営経費	光熱費、通信費、郵送・宅配費	275	160		115
その他	振込み手数料、資材代（バナー印刷）	17			17
合 計		1,562	400	265	897

**参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など）**

- ・【パワーシフト】デンキを選べば社会が変わる！ <http://power-shift.org/>



# POWER SHIFT デンキエラベル2016

http://power-shift.org

## パワーシフト！

### 自然エネルギーを重視する 電力会社を選ぼう

2016年6月

パワーシフト・キャンペーン運営委員会

吉田明子 (FoE Japan)

### 調査・啓発活動の概要

	「買いたい声」の見える化	電力会社ヒアリング・紹介	制度設計議論のウオッチ
2015年 3月	<b>パワーシフト宣言</b>		電源構成開示の義務化を求める署名
7月	各地での勉強会	「5つの重視する点」のとりまとめ	エネルギーミックスへの働きかけ
8月	チラシ配布 賛同団体募集	ヒアリング	FIT制度変更に関する働きかけ
9月	シンポジウム開催	<b>電力会社紹介開始</b>	電源構成開示を求める要請書提出
12月			小売営業指針パブコメ
2016年 1月	シンポジウム開催	ヒアリングなど	
3月	<b>各団体やメディアでの紹介</b>	ヒアリング	<b>各社と意見交換など</b>
	「宣言」とりまとめ・発表 企業との協働など	ヒアリング	

## パワーシフト・キャンペーンとは？

1) 自然エネルギーによる電力供給が促進されるように政策に働きかける

- ・電源構成や環境負荷などの開示・表示
- ・自然エネルギー導入を促進する(妨げない)しくみ



2) 自然エネルギーの電力会社や市民電力を選「選びたい」という市民の声を可視化し、大きく広げる

- ・具体的な電力会社の紹介
- ・市民の声によって電力会社を後押し
- ・実際の切り替えの促進



2

### 再エネFIT制度見直しへの働きかけ (2015年8~9月)

## 自然エネルギーの電気が 買えなくなる!?

交付金減少⇒再エネ電力の危機！

A: 全電源平均コスト基準  
方式(現在)

燃料の購入等費用 12円*(半固定)	交付金 20円
-----------------------	------------

?

B: 電力取引市場単価基準  
方式

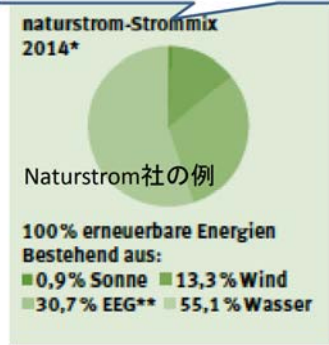
電力取引市場単価 15円*(変動)	交付金 17円
----------------------	------------

図: 再エネ買取交付金の算定方法の概念図  
例として買取価格が32円/kWhの場合の電力会社の受け取る交付金  
(\*金額はあくまで例示。)

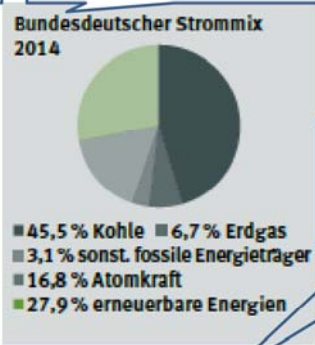


# 電源構成開示の例(ドイツ)

自社の前年度の電源構成



ドイツ全体の前年度の電源構成



・CO2の発生量

・放射性廃棄物の発生量

Umweltauswirkungen		
0 g/kWh	CO <sub>2</sub> -Emissionen	508 g/kWh
0 g/kWh	Radioaktive Abfälle	0,0005 g/kWh

Quelle: NATURSTROM  
Quelle: BDEW; Stand 11.08.2015.  
\* Gilt für Kundinnen und Kunden der NaturStromHandel GmbH  
\*\* Erneuerbare Energien, gefördert nach dem EEG.

# 電源構成開示状況は？

- ・「小売営業指針」(2016年1月)では義務化されていない。「望ましい行為」として記載。
- ・各方面から「義務化すべき」との声  
消費者団体、環境団体、市民、国会、与党、政府内(消費者庁)
- ・経済産業省も調査

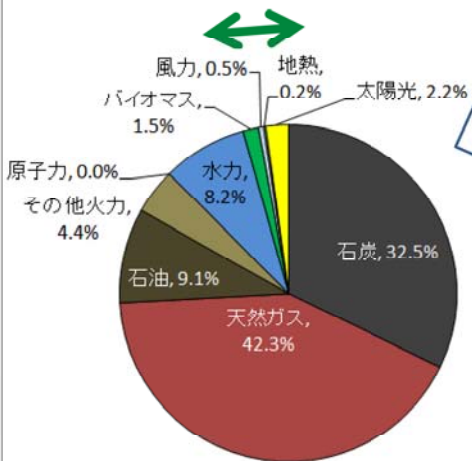
8割が開示・予定

予定なし  
3事業者、3%



全国消費者団体連絡会調査報告(2016年5月30日)より  
対象245社中、146事業者が回答

# 電源構成の中身は・・・？



大型水力以外の再生可能エネルギーは約4.4%

そのほとんどがFIT電気(固定価格買取制度の補助を受けている再エネ)

\*費用をみんなで負担しているので、環境価値はうたえないことになっている。  
FIT電気(太陽光)などの表示は可能。

日本全体の電源構成(2014年)

# 再処理費用、託送料金についても知りたいとの市民の声を受けて・・・

- ・4月から電気料金請求書の裏面に、「託送料金相当額(低圧)のご案内」が追加!

(東京電力エナジーパートナーからのお知らせ)

**再生可能エネルギー 発電促進賦課金のご案内**  
平成27年5月分から平成28年4月分までの単価は以下のとおりです。  
[1.58円/kWh(税込)]

**託送料金相当額(低圧)のご案内**  
ご請求金額には託送料金相当額を含んでおります。  
なお、託送料金相当額の目安はご使用量に平均単価を乗じて算定いただけます。  
[平均単価8.57円/kWh(税抜)]  
※平均単価には法令で定められた使用済燃料再処理等既発電相当額0.104円および電源開発促進税0.375円が含まれております。  
※その他ご契約メニューについては、当社ホームページにてご確認ください。

**電力自由化に便した悪質な勧誘や詐欺にご注意ください**  
ご契約にあたっては、ご契約内容や問い合わせ先を十分にご確認ください。

ケース1 「一括前払いで契約すると電気料金が安くなる」とその場で現金を請求する。  
→東京電力では、料金プランの変更手続きをしても、その場で現金を請求する行為は行っておりません。

託送料金のなかの  
・使用済燃料再処理等既発電相当額  
・電源開発促進税

2016年4月「東京電力」  
上記による、現在の契約内容の変更や、お書きによるお手紙はございません。



# 「自然エネルギーを重視する電力会社」 パワーシフト・キャンペーンが重視する点

1. 電源構成や環境負荷、などの情報を一般消費者にわかりやすく開示していること
2. 再生可能エネルギーの発電設備(FITをふくむ)からの調達を中心とすること
3. 原子力発電所や石炭火力発電所からの調達はしないこと(常時バックアップ分は除く)
4. 地域や市民による再生可能エネルギー発電設備を重視している
5. 大手電力会社と資本関係がないこと(子会社や主要株主でない)

今後、必要に応じてアップデート

9



再エネ供給を目指す電力会社  
インタビューを紹介中！  
<http://power-shift.org/choice>

現在 14社	太陽ガス 太陽ガスの地域電力 鹿児島県日置市	水戸電力 もっと地元が好きになる。 水戸電力 MITO Electric Power Company, Incorporated 茨城県水戸市	愛知電力 愛知電力 愛知県一宮市	日本エコシステム しぶん電力 東京都港区
泉佐野電力 大阪府泉佐野市	みんな電力 ソーシャル・エネルギー・カンパニー みんみん電力 東京都世田谷区	湘南電力 湘南電力 神奈川県平塚市	Loop 自然エネルギーをあなたのそばに Loop 東京都文京区	千葉電力 千葉電力 千葉県八千代市
みやまスマートエネルギー 福岡県みやま市	エヌパワー Natural Power 愛知県清須市	パルシステム電力 株式会社 パルシステム電力 東京都新宿区	中之条電力 一般財団法人 中之条電力 群馬県吾妻郡	生活クラブエナジー 生活クラブエナジー 東京都新宿区

## 電力会社紹介

「パワーシフト」デンキを選べば社会が変わる！

湘南電力株式会社

湘南電力株式会社  
取締役社長 渡部健氏

●電力小売事業を始めたきっかけはなんですか？

親会社であるエナリスは、地域における電力事業を展開し、その土地で発電から消費までを担う、「エネルギーの地産地消」を理念に掲げて取り組んでいます。そしてアイデアを出し合うなかで、一緒に電力事業に取り組み、その収益の一部をプロサッカーチームでJ1に所属する湘南ベルマーレに還元し、地域活性化に役立てていくという「湘南電力」の事業に結び付きました。「地域に根ざす」という思いが湘南ベルマーレと一致したことが大きかったと思います。

●貴社 業対象やエリアの特徴はなんですか？

ベルマーレのホームタウンである、神奈川県平塚市を中心に湘南地域に企業や学校法人など、特に湘南ベルマーレのサポーター企業を中心に電力供給しています。

湘南地域は、ご承知の通り、全国的に有名なエリアで、お子様からお年寄りまで魅力的なスポットがたくさんあります。また住民のみならず環境や地域貢献に対する意識が高いと思います。

●とも苦勞している(した)ことはなんですか？

は、収益の一部を湘南ベルマーレが行う地域貢献活動に還元します。即ち地産地消で地域を活性化させることが我々の使命です。湘南ベルマーレ企業には、我々のビジネスモデルを模倣して頂戴していますが、まだ業認知が低いので、サポーター企業以外へのアプローチが十分にできていないのが現状です。

湘南電力は、ご承知の通り、全国的に有名なエリアで、お子様からお年寄りまで魅力的なスポットがたくさんあります。また住民のみならず環境や地域貢献に対する意識が高いと思います。

- ・電力小売事業を始めたきっかけ
- ・特徴など
- ・苦勞していること
- ・ビジョン

## 各社の特徴と戦略

<p>自治体電力会社</p> <p>泉佐野電力 やまがた新電力 新電力おおいた こなんウルトラパワー</p>	<p>一般財団法人 中之条電力</p> <p>みやま スマートエネルギー</p>	<p>地域密着</p> <p>水戸電力 湘南電力 とっとり市民電力 須賀川瓦斯 坊ちゃん電力 北海道ガス</p> <p>愛知電力 千葉電力 太陽ガスの地域電力 九州スポーツ電力</p>
<p>再エネ事業者(地域横断)</p> <p>Loop しぶん電力 株式会社 未来電力 ネクストエナジー&amp;リソース ワタミファーム&amp;エナジー</p>	<p>ほかに</p> <p>株式会社 みるい電力</p>	<p>生協系</p> <p>株式会社 パルシステム電力 トドック電力 コープこうべ グリーン市民電力</p> <p>生活クラブエナジー</p>

12

## 課題

- 家庭向け小売供給の見通しは厳しい。  
→販売計画、広告宣伝、管理システムの整備など。薄利。  
2016年4月からの開始はごく少数、規模も限られている。  
早くても秋もしくはそれ以降。
- 再エネの絶対量が少ない。調達が困難。  
→もっとも多く再エネ電源をもっているのは、現一般電気事業者。  
新規建設、新規調達ともに容易ではない。

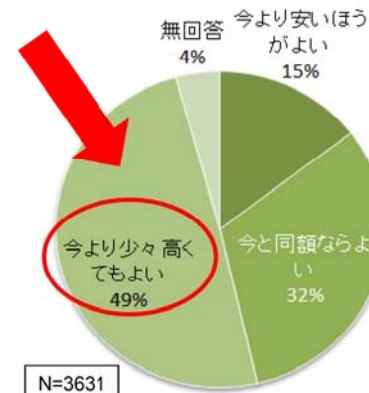
しかしそれでも、  
再エネを重視した電力供給を目指して  
準備中の会社が多数！

消費者の「再エネの電気を使いたい」声  
による後押しは不可欠！

13

## 「少し高くても自然エネルギーを買いたい！」 パワーシフト宣言 3600人の声

「今より少々高くてもよい」半数近く



電力小売全面自由化の  
挑戦がはじまりました。

「パワーシフト宣言」  
引き続き集めています！

<http://power-shift.org/declaration>

## 安さなどのアピールが中心

- 各社、平均5%ほど安くなる料金メニューを提示  
(報道など)
- 電気を多く使う人ほど割安になる ??
- 他のサービスメニューとの「セット割」
- 2年などの長期契約、途中解約の場合違約金が発生する場合あり
- CO2排出量が少ない=環境配慮な電力会社とは、必ずしも言えない
- 電源構成の開示は..?
- 電力会社の方針は？

15

## 石炭火力発電の新規建設

- 新規計画基数は計48基、設備容量は2280万kW  
(原発20基分以上！！) (2016年6月、気候ネットワーク調べ)
- これらがすべて建設されれば、2030年のエネルギーミックスの「石炭26%」をも上回る。

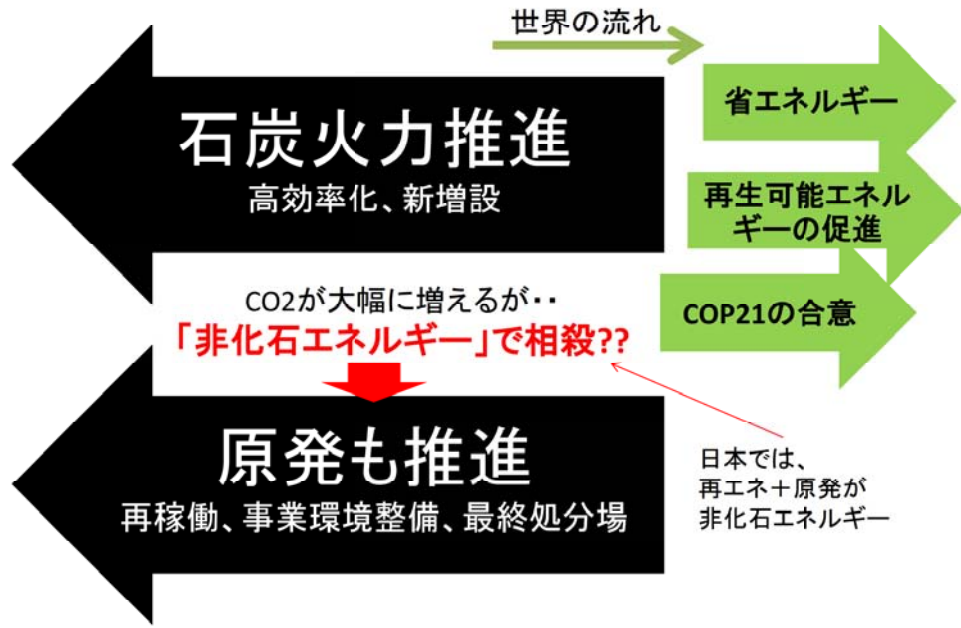


※1 石炭発電の使用電力あたりのCO2排出量は、最新型でも約800g-CO<sub>2</sub>/kWh。  
一方、天然ガス火力発電所は、最新コンバインドサイクルで約350g-CO<sub>2</sub>/kWh。  
※2 石炭ガス化複合発電 (IGCC) の使用電力あたりのCO2排出量は、約700g-CO<sub>2</sub>/kWh程度。

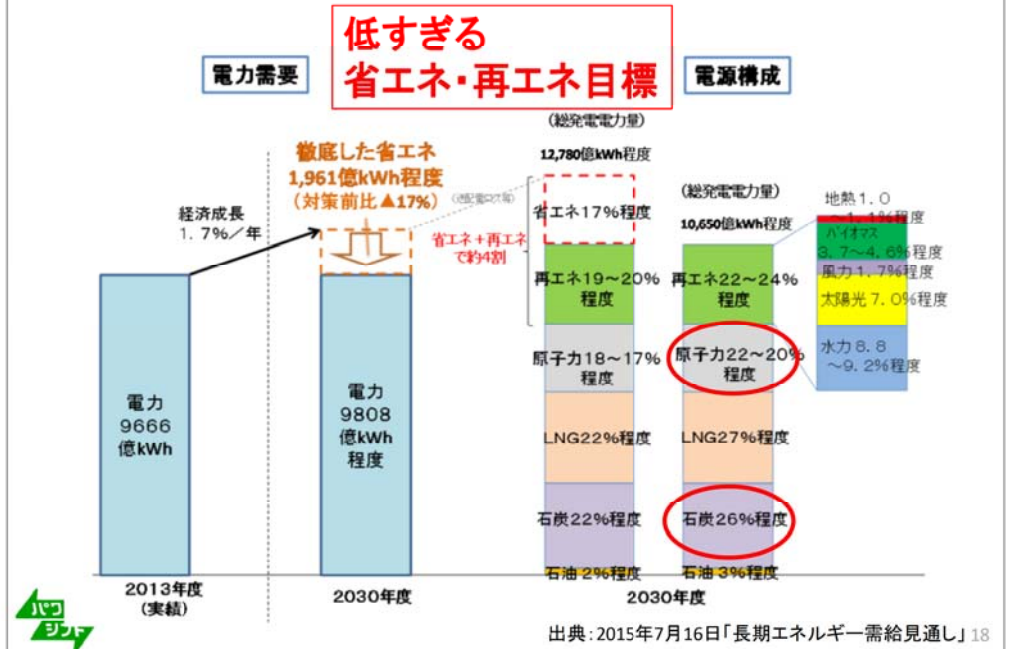
出典：気候ネットワーク石炭発電所新設ウォッチ  
<http://sekitan.jp/plant-map/v>



# 「安さ」ばかりが求められると・・・



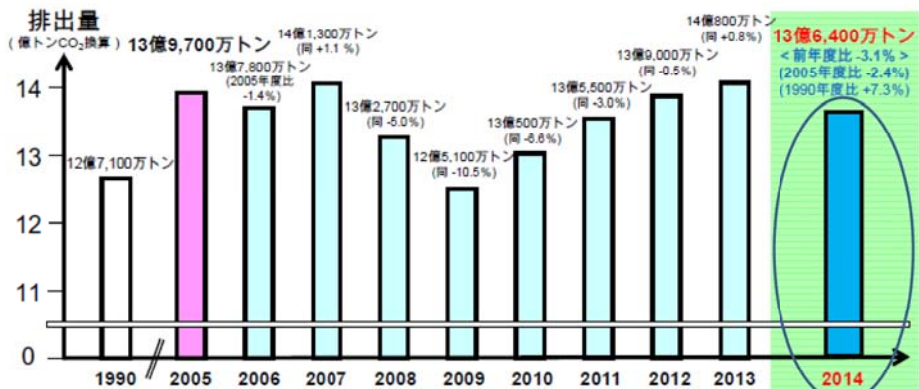
# 2030年「長期エネルギー需給見通し」



# 2014年は原発ゼロでも温室効果ガス低減

## 我が国の温室効果ガス排出量 (2014年度確報値)

- 2014年度の総排出量は13億6,400万トン(前年度比-3.1%、2005年度比-2.4%、1990年度比+7.3%)
- 前年度と比べて排出量が減少した要因としては、電力消費量の減少や電力の排出原単位の改善に伴う電力由来のCO<sub>2</sub>排出量の減少により、エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量が減少したことが挙げられる。
- 2005年度と比べて排出量が減少した要因としては、オゾン層破壊物質からの代替に伴い、冷媒分野においてハイドロフルオロカーボン類(HFCs)の排出量が増加した一方で、産業部門や運輸部門におけるエネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量が減少したことが挙げられる。



# 今後の活動見通し

	「買いたい声」の見える化	電力会社ヒアリング・紹介	制度設計議論のウオッチ
2015年	パワーシフト宣言	自治体系、生協系、再エネ系など、「再エネを重視する電力会社」(*FIT電気含)に注目	・FIT制度変更の影響は?? ・電源「表示」
2016年1月	各地での勉強会 チラシ配布 賛同団体募集	電力会社紹介を 順次追加	シンポジウム(1月) 自由化と再エネ
4月	イベント等でのアピール	5項目の達成状況評価	再エネ電力会社との 意見交換実施
9月	パワーシフトした 企業や人、事業所の 紹介		意見交換、 要望など
2017年	切り替え促進キャンペーン		

# 「パワーシフトな企業」の取り組み

- ①自社の工場・店舗・本社ビルなどをパワーシフト
- ②お客様など周囲の人にパワーシフトを共に呼びかけ

**ラッシュジャパン**(化粧品ブランド) **パタゴニア**(アウトドアブランド)

3月28日～4月14日にかけて、  
店頭での呼びかけを実施。



再エネ乗り換えの取り組み  
「Go Renewable」を展開中



パワーシフト勉強会@横浜・関内

※他にも様々な「パワーシフトな企業」が出てきています！  
今後HPなどでも紹介予定です！



# デンキを選べば社会が変わる！ 2016年～パワーシフトへ



<http://power-shift.org>

